

JOA NEWS



2026.7



高野澄佳選手、石原湧樹選手

写真:世界スキーオリエンテーリング選手権大会公式Webサイトより

Special

雪上の熱戦、世界スキーO選手権2026

2-3 p

Pick Up

日本代表ヘッドコーチ来日

8 p

Report

第18回全日本選手権大会[スプリント競技部門]

4-5 p

2025年度日本学生選手権大会[ミドル/リレー競技部門]

6 p

MTBO Japan Team活動報告

7 p

ワールドマスターズゲームズ2027関西 開催まであと1年

11 p

スポーツくじ



スポーツくじは、スポーツと人を育てる仕組み。

スポーツくじの収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。



WSOC2026 実行委員会 村越真、スキーO委員会

2026年3月1～6日、北海道留寿都で17年ぶりとなる日本開催の世界スキーオリエンテーリング選手権大会(WSOC2026)が開催され、世界14か国から98人の選手(男子56人、女子42人)、チーム役員31人の参加がありました。

競技は4種目、スプリント(2日・優勝タイム約16-17分)、パシュート(3日・優勝タイム約65分)、ミドル(5日・優勝タイム約55分)、スプリントリレー(6日・男女各1名が3回ずつ継走)が実施されました。

日本チームでは、石原湧樹選手がパシュートで世界選手権での日本選手過去最高順位となる16位を獲得。

スプリント、パシュート男子では現在ランキングトップのヨルゲン・バクリド選手(ノルウェー)が優勝、スプリント女子でもランキングトップのアンナ・ウルベンソン選手(ノルウェー)が優勝。パシュート女子では、エリアナ・ダイニングエル選手(スイス)がスイスに初の金メダルをもたらしました。

降雪後のミドルでは男女ともフィンランドが優勝(男子:ニクラス・エクストロム選手、女子:アマンダ・イリ・フクタ選手)。スプリントリレーではノルウェー、フィンランド、スウェーデン、スイスが秒差の白熱の接戦を繰り広げました。

選手権大会終了後の7日には、こどもチャレンジスキーオリエンテーリングが併催されました。約30名の参加者があり、スキーオリエンテーリングを地元のこどもたちに楽しんでもらえました。

6日には秋篠宮皇嗣妃殿下並びに悠仁親王殿下が御臨席になり、選手や関係者に温かい言葉を頂戴したほか、翌日7日には子どもチャレンジスキーオリエンテーリングで、子どもたちの体験をサポート頂きました。



石原湧樹選手、佐野響選手

出場選手・オフィシャルからのコメント

高橋美和オフィシャル

今大会は国内開催という特別な環境のもと、ベストの状態で臨めるよう準備を進めてきました。限られたリソースの中でも必要なサポートを届けられるよう努めてきました。

強化に向けては、夏場も含め複数回の合宿を実施しました。選手たちは効率よく工夫しながら取り組み、時間を共有する中で自然とチームビルディングが進んでいたように感じます。

例年以上に多くの方々からサポートをいただき、競技に専念しやすい環境が整っていました。良いパフォーマンスが生まれたことは大きな喜びです。また、他国選手との交流も見られました。ここまでの取り組みを支えてくださった多くの皆さま、そして大会運営スタッフの皆さまに、心より感謝申し上げます。

佐野響 選手

世界選手権大会の日本開催が決まってから、10年通い続けたルスツで結果を残すことを目指して準備してきました。トップ比を見ると悔しさはありますが、やるべきことは出し切れました。世界最高峰の選手たちとルスツのトレインで戦えたこと、運営スタッフや観客の皆さんから届いた多くの声援、そして現地に来られない方々からの応援も大きな力になりました。

運営の皆さんが作り上げてくださったWSOC2026という特別な舞台に立てたこと、紀子さまと悠仁さまにご臨席いただき、ニュースを通じて競技を多くの方に知ってもらえたことを嬉しく感じています。そして、選手・オフィシャル・ワックスマンが一つのチームとなって戦えたことは、何よりの誇りです。

石原湧樹 選手

数年前から目標に掲げた世界選手権大会。今季は50日間の海外遠征や80日に及ぶ雪上練習を重ね、手厚いサポート体制のおかげで万全の状態で臨むことができました。

本大会ではパシュートで16位となり、日本最高順位を更新することができました。タフな地形と硬い雪質の中、柔軟なルートチョイスと自身のフィジカルやスキー技術の強みを全て噛み合わせられた成果だと捉えています。

順位が伸びず苦しい時期もありましたが、スポンサー各位をはじめ、長年支えてくださった方々の大きな応援のおかげで、これまでの積み重ねを結実させることができました。誠にありがとうございました。今後は私自身もさらなる成長を目指しながら、日本チーム全体の強化にも貢献できるよう歩んでまいります。

競技結果(抜粋)



スプリント (3月2日)

男子

順位	名前	国	タイム
1	Jorgen Baklid	ノルウェー	0:16:18
30	石原 湧樹	日本	0:18:54
31	寺嶋 謙一郎	日本	0:19:02
46	小浦 姿	日本	0:22:27
49	清水 嘉人	日本	0:22:29
50	石原 拓巳	日本	0:23:26
52	佐賀 太一	日本	0:28:37
53	岩渕 泳人	日本	0:29:47

女子

順位	名前	国	タイム
1	Anna Ulvensoen	ノルウェー	0:17:33
37	酒井 佳子	日本	0:26:53
38	高野 澄佳	日本	0:29:01
39	佐野 響	日本	0:32:08
40	荒町 美希	日本	0:36:44
41	阿部 藍凜	日本	0:42:23



阿部藍凜 選手

パシュート (3月3日)

男子

順位	名前	国	タイム
1	Jorgen Baklid	ノルウェー	1:05:35
16	石原 湧樹	日本	1:13:52
21	寺嶋 謙一郎	日本	1:14:39
45	清水 嘉人	日本	1:52:09
46	石原 拓巳	日本	1:58:15
47	小浦 姿	日本	2:04:21
49	佐賀 太一	日本	2:01:01 (マススタート)
50	岩渕 泳人	日本	2:10:56 (マススタート)

女子

順位	名前	国	タイム
1	Eliane Deininger	スイス	1:03:56
33	酒井 佳子	日本	1:53:13
34	高野 澄佳	日本	2:10:52
35	佐野 響	日本	2:14:30
36	荒町 美希	日本	3:05:53
	阿部 藍凜	日本	失格



寺嶋謙一郎選手

ミドル (3月5日)

男子

順位	名前	国	タイム
1	Niklas Ekstrom	フィンランド	0:55:54
36	寺嶋 謙一郎	日本	1:14:39
39	石原 湧樹	日本	1:19:42
44	佐賀 太一	日本	1:23:35
46	石原 拓巳	日本	1:26:09
47	清水 嘉人	日本	1:28:55
50	岩渕 泳人	日本	1:41:06
51	小浦 姿	日本	1:46:01

女子

順位	名前	国	タイム
1	Amanda Yli Futka	フィンランド	0:55:18
34	高野 澄佳	日本	1:29:27
35	佐野 響	日本	1:32:33
37	阿部 藍凜	日本	1:58:51
38	荒町 美希	日本	2:05:37

混合スプリントリレー (3月6日)

順位	国名	タイム
1	ノルウェー	55:45
2	フィンランド	55:46
3	スウェーデン	55:47
10	日本1	1:13:24

(男子:石原湧樹 / 女子:高野澄佳)



岩渕泳人選手



石原拓巳選手



酒井佳子選手



大会公式
Webサイト



X



Instagram

写真: 大会公式Webサイト、Ski-O委員会



2026年2月8日、兵庫県淡路市の国営明石海峡公園を舞台に、2025年度的全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)を開催しました。

選手権クラスは優勝設定時間を超える難コースとなりましたが、男子は平岡選手が制し、その後は激しい入賞争いとなりました。女子は近藤選手が全日本ミドルに続き、後続を2分引き離す好タイムで優勝を飾りました。

優勝者コメント

女子選手権者 近藤 花保 選手



この度、全日本スプリント選手権で優勝し、大会2連覇を達成することができました。大変嬉しく思います。

2年前の初優勝以来、スプリント競技に注力してきました。世界選手権では世界との差を痛感する一方で、自身の成長の可能性も感じることができ、その後はスピードと技術力の向上を目指して取り組んできました。今年の特日本スプリントは、世界選手権へ向けた重要な大会と位置付け、連覇を目標に臨みました。

当日は非常にテクニカルなコースでしたが、前半から落ち着いてレースを進めることができ、優勝につなげることができました。一方で、レース内容にはまだまだ改善の余地があり自分のパフォーマンスには決して満足していません。今年は2年間目標としてきたスプリント世界選手権があります。世界の舞台で活躍できるよう、全スプで得られた経験も元に、引き続きトレーニングに励みたいと思います。

最後に、2年ぶりとなる全日本スプリントを開催して下さった運営者の皆様、そして日頃より支えて下さる皆様に心より感謝申し上げます。

男子選手権者 平岡 丈 選手



勝ちにこだわったレースでした。得意なトレインであるとともに、全日本ロングが開催されなかったことで燦った思いをぶつけるような大会でもありました。秋のフォレストシーズンから切り替え、主に走力面で練習を積みしました。

雪混じりの冷たい海風が吹き抜けるスタート地区から地図を開くと、想定を超える難解なコースが待っていました。少し動揺しましたが、この大会に向け取り組んでいたマップコンタクトに主眼を置いた戦略が上手くはまりました。徐々に落ち着き、百段苑や円形スロープを走りたいという雑念も忘れるほど集中してレースを進めることができました。

この大会の結果を受けて、スプリント世界選手権の内定をいただきました。今年特日本スプリントの技術・走力の向上に舵を切りました。その過程でも多くの人に支えられていることを感じ、結果を残せるよう一層頑張らなければならないと思います。

本大会を開催、また応援して下さった方々に感謝申し上げます。



大会公式Webサイト

写真：大会写真より

第18回全日本オリエンテーリング選手権大会 (スプリント競技部門)

ME 3.8km(↑100m)	M90A 0.9km(↑10m)	M60A 2.1km(↑50m)	M40A 2.7km(↑65m)	W21A 2.7km(↑65m)
1 平岡 丈 0:16:54	1 石田 宣宏 0:15:56	1 吉野 信治 0:16:15	1 源後 知行 0:16:11	1 伊部 琴美 0:16:35
2 橋本 遼佑 0:17:16	2 高橋 厚 0:26:20	2 大江 恒男 0:16:21	2 中田 哲也 0:17:14	2 中野 友貴 0:16:56
3 二俣 真 0:17:17	M80A 1.4km(↑30m)	3 小林 岳人 0:16:43	3 松澤 俊行 0:17:52	3 杉田 瑠菜 0:18:41
4 美濃部 駿 0:17:47	1 児玉 拓 0:18:06	W60A 1.4km(↑30m)	W40A 2.1km(↑50m)	M20A 2.7km(↑65m)
5 古角 海志 0:17:50	2 原野 幸男 0:19:31	1 小林 正子 0:14:31	1 三宅 裕子 0:26:32	1 村中 達 0:15:16
6 伊藤 樹 0:18:05	3 永元 秀和 0:44:44	2 長澤 静代 0:16:32	M30A 2.7km(↑65m)	2 小林 透哉 0:15:24
WE 3.2km(↑80m)	M70A 1.4km(↑30m)	3 松本 和美 0:17:29	1 谷川 友太 0:13:55	3 坂田 直基 0:15:26
1 近藤 花保 0:17:12	1 山本 博司 0:13:13	M50A 2.1km(↑50m)	2 徳増 宏基 0:17:01	W20A 2.1km(↑50m)
2 増澤 すず 0:19:18	2 浦野 弘 0:14:19	1 本間 晃 0:15:30	3 大箱 貴志 0:18:20	1 徳倉 朋夏 0:16:49
3 桑原 唯歩 0:19:42	3 奥山 景得 0:14:29	2 田濃 邦彦 0:15:32	W30A 2.1km(↑50m)	2 桂 万由子 0:17:43
4 松本 萌恵 0:19:44	W70A 0.9km(↑10m)	3 青木 俊之 0:16:34	1 谷川 理恵 0:17:34	3 遠藤 永子 0:18:03
5 小野塚 智美 0:19:47	1 成田 美奈子 0:11:56	W50A 1.4km(↑30m)	M21A1 3.1km(↑75m)	M15A 1.8km(↑40m)
6 阿部 悠 0:19:58	2 山本 陽子 0:13:01	1 高津 寿三鈴 0:13:11	1 鈴木 寛人 0:16:30	1 清水 溪杜 0:13:52
	3 高村 陽子 0:14:45	2 木下 佳子 0:13:27	2 金城 大武 0:16:50	2 石井 百花 0:14:03
		3 重吉 未来子 0:16:41	3 今中 雄磨 0:17:15	W12 0.9km(↑10m)
			M21A2 3.1km(↑80m)	1 源後 彩乃 0:05:50
			1 角谷 拓海 0:16:49	
			2 岩崎 壮馬 0:17:18	
			3 青芳 龍 0:17:25	



全ての成績はこちらからご覧いただけます (大会報告書)

2026年度全日本オリエンテーリング選手権大会 開催告知

- 第15回全日本オリエンテーリング選手権大会(ミドル・ディスタンス競技部門)
- 第53回全日本オリエンテーリング選手権大会(ロング・ディスタンス競技部門)

2026年度の全日本オリエンテーリング選手権大会(ミドル・ディスタンス競技部門)を2026年10月31日、全日本オリエンテーリング選手権大会(ロング・ディスタンス競技部門)を11月1日に、長野県大町市中山高原にて開催いたします。

雄大な北アルプスを望む長野県大町市・中山高原。紅葉に彩られた爽快な森林で、スピード感とナビゲーションの醍醐味を十分に味わえる舞台です。競技後は温泉や信州の味覚も楽しめる、魅力あふれる信州の秋が皆さまをお待ちしています。

詳細については、QRコードより大会のWebページをご覧ください。(9ページに広告も掲載しています。)



- 第19回全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)

2026年度の全日本オリエンテーリング選手権大会(スプリント競技部門)を2027年2月7日に東京都江東区 都立海の森公園にて開催いたします。

立入禁止範囲:

本競技の開催に伴い、大会当日まで、右図赤色範囲へのオリエンテーリング目的での立ち入りを禁止とします。

※国土地理院地図(<https://maps.gsi.go.jp>)を加工して作成しています。



2025年度日本学生オリエンテーリング選手権大会

(ミドル・ディスタンス競技部門/リレー競技部門)

2026年3月14・15日に三重県伊賀市にてインカレミドル・リレーが開催されました。

開催地となった青山高原には約730名もの学生が集い、各々のレースに臨みました。

1日目のミドルの選手権、男子選手権クラスでは中盤、初のインカレ優勝を目指す森選手(横浜国立4)が好タイムを記録しトップに。その後はなかなかトップタイムを塗り替える選手は現れませんでした。終盤に出走した寺嶋選手(東京農業オホーツク4)がトップタイムを2分以上更新する走りで見事優勝しました。森選手は2位となり、自身初のミドル選手権入賞となりました。

女子選手権クラスでは、中盤に川瀬選手(奈良女子4)が砂田選手(お茶の水女子4)のタイムを僅差で上回りトップに立つ。その後スプリント・ロングチャンプの山崎選手(筑波4)がトップタイムを大きく塗り替える圧倒的なタイムでミドル3連覇を果たしました。川瀬選手は2位、砂田選手は3位入賞となりました。

2日目のリレーの選手権、男子選手権クラスでは前日のミドルで4位入賞した横浜国立大学の高野選手が最初に会場に姿を見せチェンジオーバーをしますが、程なくしてDISQとなる波乱の展開に。2走では筑波大学の斉藤選手がトップに躍り出ますが、3走では怒涛の追い上げを見せた東京理科大学の中村選手と、東京大学の大森選手の一騎打ちとなりました。最終盤の中村選手の素晴らしい走りにより、東京理科大学が嬉しい初優勝を果たしました。3連覇を目指した東京大学は2位入賞、筑波大学は3位入賞となりました。

女子選手権クラスでは一転して筑波大学が独走する展開に。1走の小野塚選手・2走の山本選手・3走の山崎選手全員が最初に会場に姿を見せ、2位に10分以上の差をつけ女子選手権を制しました。筑波大学は女子リレー選手権クラスでは2007年度の日本女子大学以来の4連覇となりました。また、3走の落合選手が2つ順位を上げた京都大学が昨年に引き続き2位入賞、同じく3走の砂田選手が4つ順位を挙げたお茶の水女子大学が3年ぶりの3位入賞となりました。

2025年度日本学連幹事長 石川翔太



主な成績

ミドル・ディスタンス競技部門

ME 4.4km(↑315m)

1	寺嶋 謙一郎	0:37:03	東京農業大学4
2	森 創之介	0:39:23	横浜国立大学4
3	及川 悠太郎	0:39:34	筑波大学大学院4
4	高野 真人	0:40:35	横浜国立大学4
5	鈴木 寛人	0:40:41	名古屋大学4
6	加藤 賢斗	0:41:06	筑波大学3

WE 3.3km(↑215m)

1	山崎 葵	0:31:42	筑波大学4
2	川瀬 智尋	0:36:39	奈良女子大学4
3	砂田 優萌子	0:37:05	お茶の水女子大学4
4	牧 依瑠香	0:38:45	早稲田大学4
5	山本 美沙	0:40:15	筑波大学1
6	黒澤 香穂	0:41:18	京都大学3

リレー競技部門

MER

1	東京理科大学	2:32:47	(光山 大樹 - 堀井 聡一郎 - 中村 涼太)
2	東京大学	2:33:51	(山口 颯大 - 栗田 稜也 - 大森 寛玖)
3	筑波大学	2:35:44	(木明 拓玖 - 斉藤 大己 - 及川 悠太郎)
4	名古屋大学	2:35:50	(柴田 日向 - 鈴木 寛人 - 山本 匠海)
5	東北大学	2:38:57	(齋藤 洋紀 - 古角 海志 - 西澤 汰知)
6	早稲田大学	2:48:07	(井口 涼羽 - 福室 凜 - 加藤 遼)

WER

1	筑波大学	1:46:33	(小野塚 智美 - 山本 美沙 - 山崎 葵)
2	京都大学	1:57:35	(渡邊 朋香 - 黒澤 香穂 - 落合 英那)
3	お茶の水女子大学	2:04:20	(山中 望 - 宮田 鈴子 - 砂田 優萌子)
4	早稲田大学	2:07:00	(吉岡 実沙音 - 佐々木 結佳 - 牧 依瑠香)
5	東北大学	2:13:21	(香西 彩名 - 中西 澄海 - 久保田 結理)
6	横浜国立大学	2:15:37	(大山 凜花 - 中舘 美卯 - 陳 子淳)



写真:大会公式写真より



2026年のMTBO JAPANの活動について報告します。今年度は早めにイベント日程を確定し、JOYで広報を開始しました。周知期間を長めにしたこと、例年よりも幅広い層にアピールすることができました。特に5月の根ノ上高原でのイベントには、香港からの参加者を迎えることができ、大きな効果があったと思います。

3月にはインカレ会場でローラーチャレンジを開催し、2日間で多くの参加者にチャレンジしてもらいました。オリエンテーリング会場ではイベントとして開催していますが、実は一般的な自転車トレーニングの一つです。自転車競技はパワーが勝敗に大きく関わってきます。スピードとナビゲーションだけでは勝ち上がれない要素があるのがMTBOの特徴といえるでしょう。会場では学生のみならず、フットOの男子トップエリート選手、スキーO日本代表選手にもチャレンジしてもらったところ、さすが実力どおりの数値をたたき出し、周囲を感嘆させていました。

4月には、静岡県朝霧高原にて開催された富士山麓大会に併設して、朝霧野外活動センター敷地内での体験会を開催しました。これは大盛況で、2日間で50人超の参加をいただきました。

4月から5月にかけては、滋賀県朽木てんくうの森、岐阜県根ノ上高原、三重県東青山四季のさと、の3か所において、MTBOイベント兼選考会を開催しました。

また、同時期にポルトガルで開催されたMTBO欧州選手権兼ワールドカップに、梶選手、古谷選手の2名が参加しました。2人はオランダ在住で、普段は自転車競技をメインに活動しています。梶選手は2年前のブルガリアでの世界選手権大会以来、古谷選手は初めてのMTBOでしたが、2人とも健闘しています。

6月には上記レース結果をもとに、今年の代表選考結果を発表しました。

男子選手 綾野尋、梶鉄輝、嶋岡雅浩、羽鳥和重

女子選手 加納尚子

※追加選考を実施する可能性があります。

大会情報は以下の通りです。応援よろしくお願いします。

世界選手権情報

大会名: World MTB Orienteering Championships 2026 &

CX80 MTB Orienteering World Cup, Round 3 2026

開催場所: スウェーデン、ムーラ

開催日時: 2026年8月24-31日

今春のMTBOイベントの参加者について、新規参加者も増えてきて、世界大会を目指す選手だけではなく、ファンライド層も増加傾向です。運営に関しても、各県協会や地域オリエンテーリングクラブの方々等、多くの人にお世話になりました。この場を借りてお礼を申し上げます。

今後は8月の世界選手権大会にむけて、ほぼ毎週、練習会を開催予定です。

練習内容はMTBO JAPANのFacebookページにて広報します。経験や実力に合せて参加できますので、興味を持たれた方はご連絡ください。機材のレンタルもできますので、お気軽にご相談ください。

梶鉄輝選手コメント



「世界選手権に向け、ワールドカップで経験を積むことを重要と感じ出場しました。フィジカルが活かせるミドル、マスで結果を残したかったものの、マスではMP。この悔しさは世界選手権まで持っていきたいとおもいます。」



ポルトガルワールドカップにて
左から
古谷選手、伏谷チームオフィシャル、
梶選手



WMBTOC2026



Facebook



X

強化委員会では2026年より今後10年先を見据えた新たな選手強化活動を計画しています。その活動の一つとして、今期からフォレスト種目のヘッドコーチとしてフィンランド人のJari Ikaheimonen氏を迎えました。Jari氏はプロのオリエンテーリングコーチとして数多くの国で指導した経験を持ち3人の世界チャンピオンを輩出しています。また古いオリエンティアはご存じと思いますが、イーキスの愛称でWOC2005愛知大会前の2年間日本代表を指導してきました。今回21年ぶりの日本代表コーチ復帰となります。この度ゴールデンウィークに合わせて来日し、選手を直接指導する機会が設けられました。5月2日から6日まで静岡、栃木と場所を移した練習では、全体をJari氏自ら企画し、主要メニューのコースプランまで手がけました。ここではその内容について少し紹介します。

初日2日(富士市勢子辻)は、直進の精度を求めるウィンドウOに、1km弱のマスタート練習5本と、距離は短いながら高負荷な練習を実施しました。地図読みを意識するため1:7500を使うなど随所にメニュー作成の工夫がみられました。参加者からも辛いけど刺激になるといった声が聴かれています。3日は都内で開催されたジュニア強化選手向け講習会で「欧州ジュニア選手のトレーニング」という題で講義をしました。印象的な話として10代半ばまでは複数スポーツに意欲的に取り組み、専門的になりすぎない重要性が指摘されました。欧州らしい考え方で、早い段階から一つのスポーツに専念させがちな日本と対照的です。



翌日4日は、栃木の塩谷熊ノ木でミドルレースを実施しました。プランナーはフィンランド現役代表選手のHanna Hiloでした。慣れた矢板テレインでも要求される技術やリズムが異なり手強いコースとなったようです。一旦休憩した夕方には、宿舎隣接グラウンドでSpeed & Agilityトレーニングを実践しました。これは身体の俊敏性やバランスを養う練習で、正しい姿勢と筋肉の使い方を意識する重要性が説かれました。普段のトレーニングに取り入れることで、筋力強化、俊敏性アップが図られます。

5日(日光例幣使街道)はセミロングレースを実施。コントロール位置よりもルートプランニングを意識したコース設定でした。最終日6日(日光野口)は総括となるマスタート練習で、道抜きの地図が使われました。難度の高いコースでしたがこの日のみ参加した浦和高校のジュニア選手含めて選手は無事走り切りました。

合宿と練習を通じて、多くの選手と会話する機会が得られたと感じます。講義やミーティング通訳として美濃部康世氏(渋谷で走る会)に協力頂きましたが、それ以外の練習の場では直接会話する場面が多く見られました。Jari氏がゆっくりかつ明快な英語で話すため選手にもコミュニケーションが取りやすいのだと思われます。

この他、JOAイベントの前には、26日に神戸市にて関西学生の新歓練習会、29日には愛知県の競技力向上事業として練習会に参加しました。また忙しい合間を縫ってWOC2005のスタッフ・選手同窓会にも参加しました。こうした日常的なオリエンテーリングを体感することで選手のバックグラウンドを理解することができる、そう話していたJari氏はさすがプロのコーチと感じます。

フォレストは当面の目標をWOC2027に定め、次の指導は7月末ハンガリーでのトレーニングキャンプ、8月チェコのワールドカップとなります。今後も選手とコーチの信頼関係をさらに築き上げ、強い日本代表を目指していきます。

なお、本強化活動は、元日本代表で現在は株式会社リテラメッド代表である山岸倫也氏、元日本代表でイギリス在住の多田正純氏の多大なる支援の上にスタートさせました。ご両名の強化活動への深い理解と暖かい支援に感謝いたします。

また本活動は今後末永く続ける予定ですが、趣旨に共鳴し、今後サポート頂ける方を募集しています。興味ある方は強化委員会に問い合わせ頂ければ幸いです。

問い合わせ先: kyouka@orienteer.jp もしくは
joa@orienteeing.or.jp (JOA事務局)

写真: 強化委員会



全日本オリエンテーリング選手権大会

【正式名称】 第15回全日本オリエンテーリング選手権大会（ミドル・ディスタンス競技部門）
第53回全日本オリエンテーリング選手権大会（ロング・ディスタンス競技部門）
【開催日】 2026年10月31日(土) ミドル・ディスタンス競技部門
2026年11月1日(日) ロング・ディスタンス競技部門
【開催地】 長野県大町市中山高原



01 1年の総決算は全日本で！

シニア・ジュニアの日本一を決める選手権クラスから、各世代のチャンピオンを決める年代別クラス、さらに初心者におすすめ・競技者登録不要のオープンクラスまで、様々なクラスをご用意しております。存分にお楽しみください！



02 雄大な北アルプスを遠くに望むトレイン



最大の魅力は圧倒的な爽快感。見通しの良さと、スピードに乗れる絶好の舞台が広がっています。不整地経験の少ない方からベテラン、シニア層まで、誰もが純粋にナビゲーションを心ゆくまで堪能できる、懐の深いエリアです。大会当日は、ちょうど紅葉の最盛期。黄金色に染まる美しい森が広がる一方、一瞬の油断も許さないテクニカルなヤブやオープンエリアも点在し、変化に富んだスリリングな展開がみなさんを待ち受けます。

03 秋の信州で極上の週末を

トレイン周辺は、名湯・秘湯が集まる温泉郷や観光スポットの宝庫。レースの後は温泉でゆったりと汗を流し、信州の秋の味覚を贅沢に味わいつくす。そんな特別な週末を、ここ大町で過ごしませんか？



Instagram



X



大会web

Instagram、X、大会web
各種SNSにて情報発信中！



第14期JOA定期総会

2026年6月13日(土)に東京都JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREにて、第14期定期総会を開催しました。2025年度事業報告と理事の承認についてなどが話し合われ、その後質疑応答や意見交換が行われました。

また2025年度JOA表彰式も執り行われ、下記の6名と1団体を表彰しました。



JOA・都道府県協会への尽力、指導・普及の功績による表彰

- ・佐藤公英氏 (北海道オリエンテーリング協会)
- ・菊池正昭氏 (宮城県オリエンテーリング協会)
- ・尾上秀雄氏 (神奈川県オリエンテーリング協会)
- ・松江市城北公民館 (オリエンテーリング同好会) 殿
(島根県オリエンテーリング協会)



国際大会での好成績による表彰

- ・石原湧樹氏 (アークコミュニケーションズスキーチーム)



多額の寄附拠出による表彰

- ・大里真理子氏 (株式会社アークコミュニケーションズ)
- ・山岸倫也氏 (株式会社リテラメッド)

例年同日に開催していた日本代表選手壮行会は、総会に先立ち6月11日にオンラインで開催されました。

YouTubeにてアーカイブを公開しています。ぜひご覧ください。



尾上秀雄氏



菊池正昭氏



山岸倫也氏

コーチ資格取得のすすめ

普及指導委員会

コーチ1・コーチ2は、JSPO公認のスポーツ指導者資格です。初心者からエリートまで幅広い競技者を支えるための知識とスキルを身につけられます。コーチ1では、地域や学生のクラブなどで初心者～初級者を導く力を育てます。

資格取得のためには、スポーツ指導者に共通して求められる資質能力に関する科目(共通科目)と、オリエンテーリングの技術やその指導に関する科目(専門科目)両方の受講が必要になります。今年度は8月(東日本)と12月(西日本)に専門科目の講習を行います。

若手指導者の育成を進めるため、日本学生オリエンテーリング連盟登録者の方を対象に、専門科目の受講に関する優遇措置をご用意しています。学生の皆さんが指導者として学びやすい環境を整えることを目的としています。ぜひ活用してください。

対象:・2026年度 日本学連登録者の方・2024年4月以降に日本学連へ登録していた大学院生の方

※2026年度登録者の方は現在の、大学院生の方は登録時の競技者登録番号をご申告いただきます。

全日本オリエンテーリング大会における死亡事故の調査・検証について 危機管理・コンプライアンス委員会

2025年10月4日に発生した遭難死亡事故につきまして、下記の通り調査報告書を公表いたしました。

各Webページよりご覧いただけます。

「遭難死亡事故調査報告書の公表にあたって」

「2025年度全日本オリエンテーリング選手権大会
ミドルディスタンス競技部門における遭難死亡事故報告書」



ワールドマスターズゲームズ2027関西 開催まであと1年

WMOC2027関西実行委員会

2027年5月に開催されるワールドマスターズゲームズ2027関西のオリエンテーリング競技は、IOFのWorld Masters Orienteering Championships (WMOC)として開催されることが決定しました。現在、大会WebサイトではBulletin I (参加案内・募集要項)を公開しており、7月中旬にエントリーを開始する予定です(2026年6月末現在)。

開幕まで1年を切った6月上旬には、IOFイベントアドバイザーのデビット・ローチ氏が来日し、開催地のトレインや地図・コースの状況、会場設営、運営体制などについて確認が行われました。WMOCの開催基準に沿って、今後も細部にわたる確認・調整が進められる予定です。

また海外向けの英語版パンフレットも完成し、海外からは1,500人程度、合計1,800人の集客をめざしています。国内では超最大規模の大会ですが、マスターズはヨーロッパ開催でも3,000-4,000人が参加、2017年のニュージーランドでも1,700人ですから、現実的な目標と言えます。

本大会は世界選手権大会ですが、スプリントとフォレスト競技でそれぞれ予選決勝方式を取っておりますので、経験の浅い方でも参加できるのが大きな魅力です。選手権に出場できるのは35才以上(1992年12月31日以前に生まれた人)ですが、若い人でも参加できるパブリックレースも開催を予定しています。

舞台となる兵庫県には城崎温泉、竹田城跡をはじめ、多くの魅力的な観光スポットもたくさんあります。競技とあわせて観光もお楽しみいただけますので、ぜひ皆様お誘い合わせのうえご参加ください。



日程	競技	トレイン
5月21日(金)	スプリント:モデル	香住地区
5月22日(土)	スプリント:予選	香住地区
5月23日(日)	スプリント:決勝	香住地区
5月24日(月)	フォレスト:モデル	ハチ高原
5月25日(火)	フォレスト:予選	東鉢伏高原
5月26日(水)	フォレスト:ミドル決勝	兎和野高原
5月27日(木)	トレーニングイベント	ハチ北高原
5月28日(金)	フォレスト:ロング決勝	峰山高原



大会Webサイト



全日本スプリント大会での宣伝
写真: 木植早生様

JOA公認大会

トータス 50周年記念大会

Day 1 / Fujiten
Day 2-3 / Motosuko

2026
10/10 Sat
12 Mon

競技情報 / テレイン

富士天神山と、完全新規の本栖湖
50周年にふさわしい舞台

“本栖湖は、これまで調査してきた
数多のテレインの中でも、**日本一**と言える”
メイン調査者:宮西優太郎(宮西山野精図)

Day1 Middle

富士天神山(2026年修正)



プランナー
上島じゅ菜



Day2 Middle

本栖湖周辺(2026年新規)



プランナー
糸早穂



Day3 Long



プランナー
小牧弘季



エントリー受付中!

どこオリ にて
受付
CHECK!!

